



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社中央倉庫 上場取引所 東
コード番号 9319 URL <https://www.chuosoko.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 谷奥 秀実
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 山口 治彦 TEL 075-313-6151
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,376	4.4	641	2.1	784	0.3	512	△12.9
2026年3月期第1四半期	7,062	1.8	627	△4.7	782	1.5	588	15.8

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,538百万円 (156.0%) 2026年3月期第1四半期 991百万円 (△7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	28.78	—
2026年3月期第1四半期	31.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	66,901	50,938	75.7
2026年3月期	63,662	49,089	76.6

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 50,635百万円 2026年3月期 48,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	16.00	—	22.00	38.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		20.00	—	22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,600	3.3	1,120	△0.6	1,300	△2.7	980	0.9	55.13
通期	29,500	5.2	2,300	12.1	2,550	6.4	2,100	1.5	118.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	19,064,897株	2026年3月期	19,064,897株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,287,793株	2026年3月期	1,150,155株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	17,818,148株	2026年3月期1Q	18,442,109株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復傾向にあるものの、不安定な国際情勢によるエネルギーコストや原材料価格の上昇に加え、為替・金利の動向による影響を注視する必要があるなど、引き続き先行きが不透明な状況にあります。

物流業界におきましても、このような経済情勢を受けて、国内貨物の荷動きは伸び悩み、国際物流においても中東情勢の影響が継続しております。また、燃料価格等のコストは高止まりし、人件費の上昇も継続するなど、引き続き厳しい経営環境で推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループは第8次中期経営計画「NEXT CS-100」の2年度目として、戦略基本方針に基づき、各施策の展開を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、愛知県あま市において物流新拠点となる名古屋支店名古屋営業所の建築工事を進め、2027年2月に稼働予定であります。また、リサイクルペット樹脂や輸入汎用樹脂など化学工業原料の取扱いの拡大に注力するとともに、新規取引の開発にも取り組みました。

併せて、業務の効率化や業務品質の向上に継続して取り組み、また、環境に配慮したグリーン経営の推進や、サステナビリティ基本方針に基づきサステナビリティ推進委員会の活動などを通じて持続的な成長と企業価値向上を目指す議論を重ね、サステナビリティを巡る課題に具体的に取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は新規取引増加の効果などから前年同期比4.4%増の7,376百万円となりましたが、営業利益は人件費や業務委託費などが増加したことなどから641百万円と前年同期比2.1%増に留まりました。また、経常利益は金利の上昇や新規借入により支払利息が増加したことなどから前年同期比0.3%増の784百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年度の課税所得減少要因がなくなったことなどから税金費用が増加し前年同期比12.9%減の512百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(国内物流事業)

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益 (内訳)	5,842	5,642	199	3.5%
倉庫業	2,009	1,993	16	0.8%
運送業	3,832	3,649	183	5.0%
営業利益	732	720	11	1.6%

倉庫業におきましては、自社倉庫および再委託先も含めた貨物保管残高は前年同期に比し減少しましたが、出入庫高および貨物回転率は増加しました。また、運送業におきましては、保管内、保管外貨物ともに取扱量が増加したことから、国内貨物輸送取扱量は前年同期に比し増加しました。

営業利益につきましては、収益の増加に応じて業務委託費などが増加しましたが、貨物の荷役、運送取扱量が増加したことなどから、前年同期比増加しました。

(国際貨物事業)

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益 (内訳)	1,442	1,331	111	8.4%
通関業	943	812	130	16.1%
梱包業	499	518	△18	△3.7%
営業利益	123	105	18	17.9%

通関業におきましては、取扱数量は、輸出は前年同期に比し減少したものの、輸入は大きく増加しました。梱包業におきましては、輸出取扱量の減少を受けて取扱量は減少しました。

営業利益につきましては、輸入取扱数量が増加したことなどから、前年同期比増加しました。

（不動産賃貸事業）

（単位：百万円）

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益	91	89	2	2.9%
営業利益	40	39	0	2.4%

不動産賃貸事業におきましては、京都梅小路地区宿泊施設及び賑わい施設の賃貸等により、営業収益、営業利益ともに増加しました。

なお、不動産賃貸事業では、京都梅小路地区宿泊施設など物流用途以外の不動産の賃貸を行っており、物流用途不動産の賃貸につきましては、国内物流事業セグメントに区分しております。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産・負債・純資産の状況

（単位：百万円）

	当第1四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末	前連結会計年度末比	
			増減額	増減率
資産	66,901	63,662	3,238	5.1%
（内訳）				
流動資産	13,383	13,842	△459	△3.3%
固定資産	53,518	49,819	3,698	7.4%
負債	15,963	14,573	1,390	9.5%
（内訳）				
流動負債	6,865	7,027	△162	△2.3%
固定負債	9,098	7,545	1,553	20.6%
純資産	50,938	49,089	1,848	3.8%
自己資本比率	75.7%	76.6%	△0.9pt	—

（資産）

流動資産の現金及び預金が新規設備投資などにより859百万円減少しましたが、固定資産の建設仮勘定が愛知県あま市の新規物流拠点建築などにより1,022百万円、投資有価証券が評価益の増加などにより2,955百万円、それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末比増加しました。

（負債）

流動負債の未払法人税等が193百万円減少しましたが、固定負債の長期借入金が新規借入により532百万円、繰延税金負債が1,026百万円、それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末比増加しました。

（純資産）

自己株式が前連結会計年度から継続して行っている取得により294百万円増加しましたが、利益剰余金が118百万円、その他有価証券評価差額金が2,031百万円、それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末比増加しました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から0.9ポイント減の75.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額
現金及び現金同等物 期首残高	6,310	5,268	1,042
営業活動による キャッシュ・フロー	485	△270	756
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,253	△942	△311
財務活動による キャッシュ・フロー	△92	410	△503
現金及び現金同等物 増減額	△859	△802	△57
現金及び現金同等物 期末残高	5,450	4,465	984

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益785百万円、減価償却費396百万円であります。

主な減少要因は、前払費用等の増加によるその他の資産の増加219百万円、営業債権の増加198百万円、法人税等の支払307百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出1,226百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主な増加要因は、長期借入れによる収入750百万円であります。

主な減少要因は、配当金の支払額394百万円、自己株式の取得による支出294百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、2026年5月13日発表の業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,880,384	8,020,594
受取手形	178,588	184,488
営業未収入金	4,404,837	4,597,234
貯蔵品	35,842	39,685
その他	345,085	543,320
貸倒引当金	△1,833	△1,735
流動資産合計	13,842,904	13,383,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,127,962	15,850,112
機械装置及び運搬具（純額）	825,216	822,429
土地	13,519,390	13,519,390
リース資産（純額）	161,420	153,367
建設仮勘定	2,372,866	3,395,481
その他（純額）	117,425	116,266
有形固定資産合計	33,124,282	33,857,049
無形固定資産		
のれん	22,144	20,760
その他	115,312	108,813
無形固定資産合計	137,457	129,574
投資その他の資産		
投資有価証券	15,461,562	18,417,333
繰延税金資産	3,596	—
退職給付に係る資産	611,320	620,915
その他	484,151	495,800
貸倒引当金	△2,557	△2,557
投資その他の資産合計	16,558,073	19,531,491
固定資産合計	49,819,813	53,518,115
資産合計	63,662,718	66,901,704

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,835,731	1,896,589
短期借入金	2,900,000	2,900,000
1年内返済予定の長期借入金	598,076	671,826
リース債務	40,184	40,284
未払法人税等	336,589	142,793
賞与引当金	402,524	188,927
役員賞与引当金	47,100	12,212
その他	867,726	1,012,416
流動負債合計	7,027,930	6,865,048
固定負債		
社債	130,000	130,000
長期借入金	3,536,986	4,069,967
リース債務	130,978	120,869
繰延税金負債	3,169,679	4,196,673
退職給付に係る負債	161,407	167,715
その他	416,282	413,380
固定負債合計	7,545,334	9,098,605
負債合計	14,573,264	15,963,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,268,585	2,268,585
利益剰余金	37,272,782	37,391,357
自己株式	△1,673,289	△1,967,785
株主資本合計	40,602,372	40,426,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,781,287	9,812,396
為替換算調整勘定	35,219	38,724
退職給付に係る調整累計額	372,013	358,379
その他の包括利益累計額合計	8,188,521	10,209,500
非支配株主持分	298,559	302,097
純資産合計	49,089,453	50,938,050
負債純資産合計	63,662,718	66,901,704

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
営業収益	7,062,975	7,376,580
営業原価	6,165,564	6,439,747
営業総利益	897,410	936,833
販売費及び一般管理費	269,554	295,800
営業利益	627,856	641,033
営業外収益		
受取利息	1,803	1,256
受取配当金	163,014	181,047
社宅使用料	4,170	4,181
持分法による投資利益	1,706	—
その他	17,323	6,015
営業外収益合計	188,018	192,500
営業外費用		
支払利息	23,532	43,314
持分法による投資損失	—	4,531
その他	10,226	1,177
営業外費用合計	33,759	49,023
経常利益	782,114	784,510
特別利益		
固定資産売却益	247	986
特別利益合計	247	986
特別損失		
固定資産売却損	160	—
固定資産除却損	1,396	7
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	1,556	7
税金等調整前四半期純利益	780,805	785,489
法人税、住民税及び事業税	69,630	158,316
法人税等調整額	118,284	110,246
法人税等合計	187,915	268,562
四半期純利益	592,890	516,926
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,434	4,195
親会社株主に帰属する四半期純利益	588,455	512,731

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	592,890	516,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	411,289	2,031,207
退職給付に係る調整額	△7,958	△13,634
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,958	3,504
その他の包括利益合計	398,372	2,021,077
四半期包括利益	991,263	2,538,004
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	987,499	2,533,710
非支配株主に係る四半期包括利益	3,763	4,294

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	780,805	785,489
減価償却費	443,252	396,563
貸倒引当金の増減額（△は減少）	727	△98
賞与引当金の増減額（△は減少）	△234,526	△213,597
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△34,758	△34,887
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△9,874	△23,557
受取利息及び受取配当金	△164,817	△182,304
支払利息	23,532	43,314
持分法による投資損益（△は益）	△1,706	4,531
為替差損益（△は益）	140	△42
投資有価証券売却損益（△は益）	0	—
固定資産除却損	1,396	7
固定資産売却損益（△は益）	△87	△986
営業債権の増減額（△は増加）	△26,335	△198,297
棚卸資産の増減額（△は増加）	962	△3,843
その他の資産の増減額（△は増加）	△335,629	△219,125
営業債務の増減額（△は減少）	△61,029	60,858
未払消費税等の増減額（△は減少）	△259,854	89,336
その他の負債の増減額（△は減少）	78,935	139,914
その他	1,399	3,408
小計	202,532	646,685
利息及び配当金の受取額	165,465	182,960
利息の支払額	△28,044	△35,909
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△610,524	△307,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	△270,571	485,871
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	550,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,436,172	△1,226,973
有形固定資産の売却による収入	983	2,670
有形固定資産の除却による支出	△932	△29,900
投資有価証券の売却による収入	0	—
その他	△56,372	540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△942,493	△1,253,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,080,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△89,518	△143,269
リース債務の返済による支出	△21,368	△9,049
自己株式の取得による支出	△167,517	△294,495
配当金の支払額	△389,342	△394,469
非支配株主への配当金の支払額	△1,260	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	410,993	△92,039
現金及び現金同等物に係る換算差額	△140	42
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△802,212	△859,789
現金及び現金同等物の期首残高	5,268,115	6,310,384
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,465,903	5,450,594

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際貨物事業	不動産賃貸事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	5,545,873	1,331,165	—	6,877,039	—	6,877,039
その他の収益	96,887	—	89,048	185,936	—	185,936
外部顧客への営業収益	5,642,761	1,331,165	89,048	7,062,975	—	7,062,975
セグメント間の内部営業収益又は振替高	51,369	—	—	51,369	△51,369	—
計	5,694,130	1,331,165	89,048	7,114,344	△51,369	7,062,975
セグメント利益	720,854	105,027	39,050	864,931	△237,075	627,856

(注) 1. セグメント利益の調整額△237,075千円には、セグメント間取引消去△18千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△237,057千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際貨物事業	不動産賃貸事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	5,745,176	1,442,701	—	7,187,878	—	7,187,878
その他の収益	97,073	—	91,628	188,701	—	188,701
外部顧客への営業収益	5,842,250	1,442,701	91,628	7,376,580	—	7,376,580
セグメント間の内部営業収益又は振替高	50,037	—	—	50,037	△50,037	—
計	5,892,287	1,442,701	91,628	7,426,618	△50,037	7,376,580
セグメント利益	732,170	123,839	40,001	896,010	△254,977	641,033

(注) 1. セグメント利益の調整額△254,977千円には、セグメント間取引消去107千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△255,085千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。